

報道関係者各位
2015年4月21日

TSX/NYSE/PSE: MFC

SEHK: 945

マニライフ生命 療養中の子どものためのプレイルーム「マニライフわくわくる一む」を 北里大学病院に贈呈

— 全国で11カ所目の本格的療養環境を備えたプレイルーム —

マニライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼CEO:ギャビン・ロビンソン、本社:東京都新宿区、以下「マニライフ生命」)が社会貢献活動の一環として取り組んでいる、療養中の子どものためのプレイルーム「マニライフわくわくる一む」が、新たな寄贈先である北里大学病院(神奈川県相模原市)にて完成し、4月6日に贈呈式が行われました。

「マニライフわくわくる一む」プロジェクトは、子どもの医療や健康の支援・療養環境改善のために、マニライフ生命が社会福祉法人中央共同募金会、特定非営利法人「子ども健康フォーラム」と協力して行っている「マニライフ生命 子どもの療養環境支援プロジェクト」の一つで、療養環境として十分な機能を果たす本格的プレイルームを全国の小児療養施設に設置する活動です。マニライフ生命では、2007年より当活動に取り組んでおり、設計、内装、家具、おもちゃ等、細部に至るまで専門家の意見が反映された部屋作りを支援しています。今回の寄贈先である北里大学病院は、11カ所目の設置となります。

子ども達が受ける治療によるストレスを軽減するには、家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他児との関わり合いの中で社会性を育む機会の提供などの“療養環境の充実”が不可欠といわれています。しかしながら、国内の小児療養施設では、プレイルームが設置されていても、そのような点を重視した設計が少ないのが現状です。当社は本プロジェクトを通じ、療養中の子ども達の心をケアするための中核施設となるプレイルームの意義を啓発し、充実した運用と質的向上の促進を目指して、設置と運営を支援しています。(「マニライフわくわくる一む」の詳細は添付資料をご参照ください。)

当日は、プレイルームの内覧会も行われ、当社のギャビン・ロビンソン社長が出席しました。ロビンソンは、「北里大学病院の『わくわくる一む』設置にあたり、ご尽力いただいた皆様に感謝いたします。入院している子ども達が、明るく過ごせるように願っています。」と述べました。

マニライフ生命は、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。



テープカットの様子:

北里大学病院の海野信也病院長(中央)と石井正浩小児科長(右端)、中央共同募金会の島村糸子事務局長(左端)、子ども健康フォーラムの前田正信理事(左から3番目)と山田政功監事(左から二番目)、当社のギャビン・ロビンソン代表執行役社長兼CEO(右から3番目)と浅井鈴美子常務執行役員兼CMO(右から2番目)



内覧会にて:

療養中の子どもと一緒に備え付けの玩具で遊ぶ当社のロビンソン。玩具は安全かつ相手とのコミュニケーションを必要とするものを基準に選定。



マニライフについて

マニライフ生命は、マニライフのグループ企業です。

マニライフは、カナダに本拠を置く大手金融サービスグループです。主にカナダ、米国、アジアを中心に事業を展開し、カナダおよびアジア地域ではマニライフとして、米国においてはジョン・ハンコックのブランドで事業を行っています。マニライフは、お客様からの信頼と信用に支えられ、力強さに満ち、明日を切りひらく企業として、お客様のニーズにあったファイナンシャル・ソリューションを提供しています。また、職員、エーгентおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、数多くのお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供し、機関投資家のお客さまには、資産運用サービスもご提供しています。

マニライフ及びその子会社の管理運用資産は、2014年12月31日現在およそ6,910億カナダドル(5,960億米ドル)です。トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。詳細はウェブサイト(www.manulife.com)をご覧ください。

北里大学病院について

北里大学病院は、北里柴三郎の遺訓である「開拓」「報恩」「叡智と実践」「不撓不屈」を建学の理念に設立された北里大学の大学病院として1971年に開院しました。この建学の理念を医学・医療の場を通じて具現化するため、病院の理念として「患者中心の医療」「共に創りだす医療」を掲げ、患者の人権を尊重し、信頼される安全で高度な医療の実践を目指しています。

地域の基幹病院としての役割を果たし、1986年には北里大学東病院を開院。また、1998年4月には高機能かつ最新の設備を備えた新棟が完成。特定機能病院としての使命を十分に発揮できる入院環境の整備や病室の個室化を実現しました。2014年5月には、両病院の医療提供体制の再編により、急性期医療を集約化した新大学病院として生まれ変わりました。2015年5月には、北里大学東病院もリニューアルオープンし、精神疾患治療センターに加え、リハビリテーションや在宅・緩和支援ケア、自立支援などポスト急性期医療に特化し、北里大学病院と補完し合うことで幅広い対象へ医療を提供していきます。(http://www.kitasato-u.ac.jp/khp/)

特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子ども達に、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。(ホームページアドレス <http://www.npo-cln.com/>)

社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国47都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、寄付金受入れおよび調整や、民間助成資金・公益信託などの取扱いを通して、民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。NHKとの共催による「NHK 歳末たすけあい」、ボランティア活動の推進なども行っています。(http://www.akaihane.or.jp/)



参考資料

■北里大学病院「マニユライフわくわくる一む」概要

「マニユライフわくわくる一む」は、昨年5月にオープンした新病院(本館)の小児病棟に設置されました。小児病棟は、手術や検査を目的とする短期入院のみでなく、慢性疾患や悪性腫瘍等、様々な疾患の子どもが入院する施設です。定床48床で、常時40人前後が入院しており、対象年齢は0～15歳未満です。



デザイン

小児病棟のテーマ「夢の森の動物」にあわせて、森をイメージした空間をデザインしました。入院中の子ども達と家族、病院スタッフ、そして動物達が集まって笑顔になれる場所をイメージしています。幅広い年齢の子ども達を迎える場所であるため、乳幼児対象と幼児～小中学生対象のスペースに分け、安全性への配慮と成長発達に合った遊びの選択を可能にしました。森の木を想像させるよう、大型家具や収納家具は木製を導入し、大型家具の屋根などには緑色を使っています。また、木の素材が持つ温かみは、子どもにも大人にも癒しを提供します。壁画は、女子美術大学のヒーリング・アートプロジェクトに関わる講師と学生が担当。壁から天井まで、いきいきと描かれた動物を見て、子ども達が想像を膨らませ、自分だけの物語を作って楽しむこともできるようになっています。

玩具

安全性を重視し、①繰り返し遊べるもの、②子どもの工夫に対応できるもの、③相手とのコミュニケーションを必要とするもの、④数人の仲間と競い合うことを楽しめるもの、⑤色合いやデザインが美しく子どもの目を養うことができるもの、⑥やわらかで耳にやさしい音を生じるもの、を条件に、子どもの様々な生活経験を引き出すことができる玩具を選定しました。優良なおもちゃの選定基準となる「グッド・トイ」*も参考にしています。家族の方が育児をする上でのおもちゃ選びの参考になるよう配慮し、成長に見合ったおもちゃを保育士がアドバイスします。

書籍

小児認定看護師と保育士が、①子どもの目を養う美しい絵、②ことばの響きやリズムを心地よく感じられるもの、③子どもが知りたいと思ったことをすぐに開けるもの、④正確な知識を提供できるもの、を考慮して選定しました。また、長年地域で児童書の専門店を開いている方のアドバイスも受けています。15室ある外来診察室の壁面には童話を元にした絵が描かれていることから、書籍を購入した際に、描かれた童話の絵本も揃え、子ども達がより物語に興味を持てるよう工夫しました。

*ヨーロッパで広まった、優良なおもちゃを選び普及させる活動。日本では1987年に日本グッド・トイ委員会が設立されている。

北里大学病院「わくわくる一む」の写真



【幅広い年齢の子ども達に対応できる
玩具や書籍がそろえられた「わくわくる一む」】



【小中学生対象のスペースでゲームを楽しむ親子】



【壁から天井まで描かれた森の動物、木製家具の配置で
小児病棟のテーマ「夢の森の動物」にあった空間デザイン】



【乳幼児対象のスペース。玩具は子どもの様々な
生活経験を引き出すことができるものが選定されている】

「マニュアルわくわくる一む」一覧(2015年4月21日現在)

	施設名(施設所在地)	概要(完成年)
1	近畿大学医学部附属病院(大阪府)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008年)
2	豊田厚生病院(愛知県)	短期入院用と中長期入院用の2つの病棟プレイルーム(2008年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009年)
4	中部ろうさい病院(愛知県)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009年)
5	旭川厚生病院(北海道)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011年)
8	星総合病院(福島県)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013年)
9	心身障害児総合医療療育センター(東京都)	心身障害児向けプレイルーム(2013年)
10	茨城県立こども病院(茨城県)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014年)
11	北里大学病院(神奈川県)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015年)